

防 災

その時に備えて、 今できること

☎ 754・6263 危機管理課

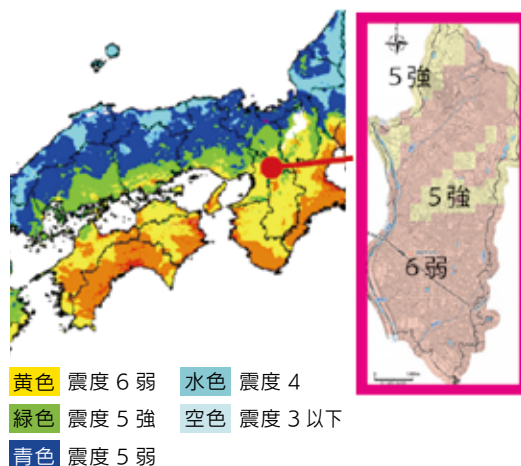
6年1月1日に石川県能登地方を震源とした能登半島地震や激甚化・頻発化する豪雨災害など、自然災害はときとして想像を超える力で襲ってきます。自然災害に備えて、自分たちでできる対策や市が行っている災害対策を紹介します。一人一人が自然災害について考え、自助力を高めましょう。

南海トラフ地震について

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域としておおむね100～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震です。科学的に想定される最大クラスの南海トラフ地震（南海トラフ巨大地震）が発生した場合、静岡県から宮崎県にかけての一部では震度7となる可能性があるほか、関東地方から九州地方にかけての太平洋沿岸の広い地域に10mを超える大津波の襲来が想定されています。

7年1月には南海トラフ地震の発生確率が「30年以内に80%程度」に見直されました。本市は南海トラフ地震のほかにも、有馬一高槻断層帯や上町断層帯などによる地震の影響が見込まれます。

30年以内の発生確率「80%程度」



市内の被害想定

最大震度：6弱

津波の被害想定区域はありません

（出典）内閣府ホームページ

自分たちでできる備え

備え① 日頃からできる備え

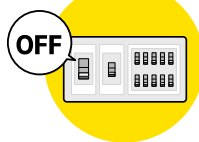
問合せ 危機管理課 ☎ 754・6263

転倒・転落・移動の防止準備



家具の転倒や飛散によるけが防止のために新聞紙をたたんだものなどを家具設置面手前に入れて壁側に傾斜させる。また、家具と天井の隙間を段ボール箱などで詰める。

感震ブレーカーの設置



地震の揺れが原因で停電した後に、電気が復旧することで発生する火災があります。感震ブレーカーは、ある一定以上の地震の揺れを感じると、自動的に通電を遮断してくれます。

非常持出品 必要数量の目安



家庭内用備蓄は最低3日分、できれば7日分が必要です。

家庭の人数や子ども、高齢者など実情に合わせた備えを意識し、必要数量をしっかりと備えましょう。



品名・推奨個数の例（4人家族の場合）

●体拭き用ウェットタオル … 10パック（1カ月分）	●携帯トイレ（シートタイプ） … 140個程度（7日分）
●水（2ℓ ペットボトル） … 4人×7本（7日分）=28本	●LEDランタン … 最低3つ
●非常食 … 4人×21食分（7日分）=84食分	●携帯ラジオ … 1家庭に1台
●カセットコンロ … 1家庭に1台	●無水ハミガキ … 4本
●カセットボンベ … 15本（1カ月分）	

ID 2426

備え② 避難行動要支援者の登録

問合せ 危機管理課 ☎ 754・6263

避難行動要支援者とは、自ら避難するのが困難で、避難するのに支援を必要としている方のことです。本市では、下記の条件の方を避難行動要支援者として名簿を作成しています。

生活基盤が自宅にある方のうち、以下のいずれかまたは複数の要件に該当する方

- 要介護認定3～5を受けている方
- 療育手帳Aを所持する方
- 身体障がい者手帳1・2級（総合等級）の第1種を所持する方（免疫障がいを除く）
- 精神障がい者保健福祉手帳1級を所持する方
- 80歳以上の高齢者のみの世帯の方
- 上記以外で支援を必要とする方

避難行動要支援者名簿を活用し、要支援者ごとに個別避難計画を作成いただき、地域の支援者などと情報を共有することで、普段の見守りや災害が起きたときの避難行動支援が行われるような取り組みを推進しています。皆さんのご協力をお願いします。

ID 3865

備え③ 木造住宅耐震化の補助

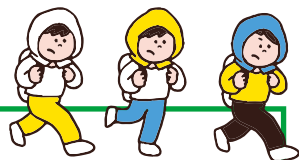
問合せ 審査指導課 ☎ 754・6339

過去の大規模地震では、昭和56年以前に建てられた古い建築物が数多く被害を受けました。木造住宅の地震による被害を防止するために、昭和56年5月以前に建てられた木造住宅の耐震化に関する補助制度を設けています。



災害対策

市では、災害時に備え資機材や備蓄品の充実に努めています。
以下に、その一部を紹介します。



市の対策

マンホールトイレ



マンホールを活用し、上下水道やプール、貯水槽の水を利用して汚物を流す仕組みです。現在は池田小学校に整備しており、今後市内の公立小学校や義務教育学校に順次整備する予定です。

防災備蓄倉庫



防災備蓄倉庫には、食料や飲料水、簡易ベッド、毛布などを備蓄しています。たくさんの備蓄があるように見えますが、市内全域を襲う大規模災害が発生したときに十分な備蓄量とはいえません。一人一人が非常食や防災品など日頃から十分に備えましょう。



防災に関する講座

市職員が講師として、市民の皆さんに防災についてお伝えする講座を実施しています。

講座名

自主防災組織説明会 ～自主防災組織結成に向けて～

内容

自主防災組織とは、「自分たちのまちは自分たちで守る」という、地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて結成される防災組織のことです。その必要性、役割、活動、作り方などを説明します。

講座名

ハザードマップ ～ハザードマップの見方について～

内容

4年3月に全戸配布したハザードマップについて、お住まいの地域に特化した災害リスクととるべき行動などを説明します。

※ これらの講座は、「池田市まちづくり出前講座実施要綱」に基づき実施しています。



正確な情報の入手方法

災害時の情報伝達・収集方法はさまざまです。ご確認ください。

情報収集・伝達手段・連絡方法



1

ID 12861 市ホームページ

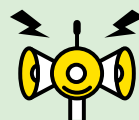
災害情報などを知ることができます。災害時に緊急ページに切り替わる場合があります。



4

防災行政無線

屋外スピーカーを通じて、避難情報などをお知らせします。聞き取れなかった場合は、専用ダイヤル ☎ 752・2198 で確認できます。



2

広報車

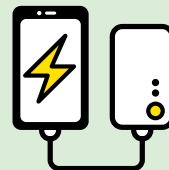
市の広報車が地域を巡回し、情報をお知らせします。



5

関西電力送配電

電気が供給されない場合は、☎ 0800・777・3081 にご連絡ください。



3

おおさか防災ネット

あらかじめ登録した人を対象に、災害情報などがメールで配信されます。



6

大阪ガスネットワーク

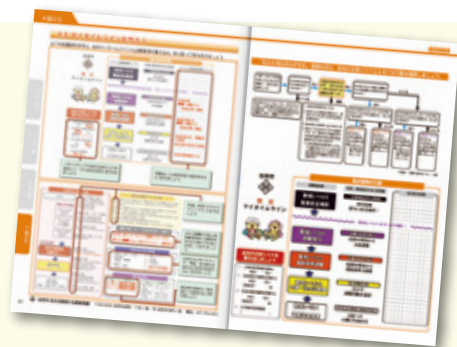
ガス漏れの恐れがある場合には、☎ 0120・5・19424 にご連絡ください。



災害に備えるための マイタイムライン

●マイタイムラインとは？

台風や大雨などの風水害時に、自分自身や家族のとるべき行動について「いつ」「誰が」「何をするか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災計画です。事前に行動するタイミングと連絡体制を明確にすることで、スムーズな避難につなげることができます。



※マイタイムラインは、ハザードマップの巻末に掲載しています。